

令和2年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業報告

事業概況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、行動の制限や活動の自粛が求められたことにより、相互の支えあい活動（見守り活動）をはじめ地域福祉活動に大きな影響を及ぼしました。

このような中でも、曾於市社会福祉協議会は、「人と人とのつながりを大切に 地域と共に歩む」の理念のもと、コロナ禍における支えあい活動を試行錯誤しながら、地域住民、校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉法人、関係団体、行政等と連携し、新しい生活様式を踏まえての事業活動など、職員一丸となって取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した世帯に対しては、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付制度の窓口となり、生活相談支援センター(生活困窮者自立支援事業)など各行政機関と連携して、一時的な生活の維持や生活の立て直しのための相談支援に応じました。

令和2年7月の豪雨災害では、県内でも各地で床上浸水や土砂崩れなど多くの災害が発生し、曾於市においても家屋の全壊が1件あったことから、被災世帯に対して、見舞金を支給しました。

2年目を迎えた第3次基盤強化計画では、正規職員全員を校区別地域福祉コーディネーターとして配置した他、研修体系や広報の見直し、経営分析体制づくりなどに取り組みました。

市との事務協議において、今年度は、本会理事にも参加いただき、曾於市民が住み慣れた地域の中で安心・安全な暮らしができるよう、行政職員と本会役職員が一体となって福祉課題の解決に向けて取り組むことや、今後の方向性について共有することができました。

権利擁護センターでは、法人後見業務として、高齢者のみならず障がい者に対しての後見業務の受任が開始され、福祉サービス利用支援事業の利用者も増加傾向にあります。

今後ますます権利擁護を必要とする方々が増えていく中で、判断能力が不十分であっても地域で安心・安全に暮らし続けられるよう、権利擁護センター機能を強化してまいります。

第16回曾於市社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の感染者拡大防止のため、開催時期の延期、参加人数の制限、規模の縮小、感染防止対策の徹底、これらの措置を講じて「みんなの力で 人にやさしいまちづくり」を大会テーマに、表彰規程に基づく社会福祉功労者等への表彰や、福祉作文・ポスターの表彰・発表を行いました。

曾於市公共施設の指定管理経営については、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休業要請等で利用者数は大幅な減少となりましたが、指定管理施設の設置目的を十分踏まえ、業務契約を遵守し、地域住民の誰もが気軽に利用できる施設として、感染予防対策を

十分に行い、財部保健福祉センター・大隅弥五郎伝説の里・大隅デイサービスセンターの適切な管理経営に努めました。

地域包括支援センターは、市からの受託3年目を迎え、地域担当制によるチーム支援と行政や関係機関との連携が広がり、曾於市が行った市民アンケートでも、相談窓口としての認知度も向上している結果が出ています。今後も、地域包括ケアシステムの中心的な推進役として総合相談機能等の充実を図ってまいります。

決算における収支については、収益では、多額の寄付等により増額となりました。費用については、人件費、事業費、事務費ともに減額となり、事業活動による当期活動増減差額は、前年度よりも大幅に改善されました。

以上のように、新型コロナウイルス感染症による影響を受けたものの、地域に信頼され、必要とされる社会福祉協議会を目指し、各種事業に真摯に向き合って取り組んだ結果、所期の目標は達成することができました。

重点事業の取り組み

I 総務関係

令和2年度は、理事会及び評議員会を各3回開催し、規程改正や事業報告・計画、決算・予算等の審議・決議を行いました。

第3次基盤強化計画については、6つの委員会に分かれ計画の実践について協議・検討を行い、最終的に管理職、各委員会のリーダーで構成される実践委員会での協議を経て事業等に取り組み、組織基盤の強化につなげました。

「職員意識調査」も実施しました。各職員の現況や組織に対する思い、今後の事業展開に関する提言等を把握しました。結果分析をより行い、今後の組織運営に活かしていきます。

社会福祉充実計画は「職員処遇改善事業」として、新規採用職員の前歴換算(職歴加算)による給与等の増額支給、「職員育成事業」は、職員3名が先進社協で事業実施のための財源確保や、今後受託を予定している事業について研修を受け、資質向上を図りました。今後も社会福祉充実残額を活用し、地域に貢献できるよう事業を実施していきます。

人事考課は全職員を対象に年度中2回実施し、勤務評定を行い、上司との面接を通して、業務に関する振り返りや、今後の取り組みについて考える機会となりました。

計画的育成と人事の効果的な運用を図るため、「職員キャリアパス基準」を運用し職位ごとの等級を定め業務を行い、年度末には上司との振り返りの面談を実施しています。

その他、職員の意識改革やサービスの質の向上を目的に、職員研修マニュアルによる内部研修会も行い、職員一人ひとりが自分に求められるスキルについて確認し、組織をさらに発展させていくために、どのように取り組むべきか理解を図る場となりました。

また、役職員全体研修会を2回、役員・管理職員による役職員合同研修会も開催しそれぞれ、今後取り組むべき事項や、現在の課題等について考え、学ぶ研修会となりました。

より働きやすい職場環境づくりとして、年次有給休暇の取得促進や、ストレスチェックを実施し、情報公開として、年度中4回(第75号～78号)の情報紙「手と手」の発行や、ホームページを活用し、事業・活動の啓発を敏速に行うことができました。

その他、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力として、職域募金や街頭募金活動の実施や、本会の目的達成のために必要な事業として「曾於市共同募金委員会事務局」「日本赤十字社鹿児島県支部曾於市地区事務局」「曾於市民生委員児童委員協議会連合会及び各地区民生委員児童委員協議会事務局」業務にも取り組みました。

総務課関係事業実績

1 会務の運営

(1) 理事会

開催回	年月日	出席者数	主な議題
第1回	令和2年6月8日	理事 10 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について ・令和元年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業報告について ・令和元年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会決算について ・令和2年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第1回)について ・令和2年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会第1回評議員会について
第2回	令和2年11月19日	理事 8 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第2回)について ・令和2年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会第2回評議員会について
第3回	令和3年3月12日	理事 9 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則の制定について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部を改正する規則の制定について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会登録訪問介護員就業規則の一部を改正する規則の制定について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会非常勤介護支援専門員就業規則の一部を改正する規則の制定について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会セクシャルハラスメント及びパワーハラスメントの防止に関する規則の一部を改正する規則の制定

開催回	年月日	出席者数	主な議題
			<p>について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について ・社会福祉法人曾於市社会福祉協議会ふれあい・いきいきサロン開設補助金交付要綱を改正する要綱の制定について ・令和 2 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第 3 回)について ・令和 3 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業計画について ・令和 3 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支予算について ・令和 2 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会第 3 回評議員会について

(2) 評議員会

開催回	年月日	出席者数	主な議題
第 1 回	令和 2 年 6 月 23 日	評議員 11 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業報告について ・令和元年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会決算について ・令和 2 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第 1 回)について
第 2 回	令和 2 年 12 月 3 日	評議員 10 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第 2 回)について
第 3 回	令和 3 年 3 月 23 日	評議員 11 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支補正予算(第 3 回)について ・令和 3 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会事業計画について ・令和 3 年度社会福祉法人曾於市社会福祉協議会収支予算について

(3) 監査

(内部監査)

開催回	年月日	実施場所	実施者(内部監査担当職員)
第1回	令和2年4月23日	末吉支所・大隅支所	若松 旭(総務課一般職)
	令和2年4月24日	本所	新川好敏(地域福祉課長)、 牧野美鈴(大隅支所長)
第2回	令和2年10月20日	末吉支所・大隅支所	若松 旭(総務課一般職)
	令和2年10月23日	本所	新川好敏(地域福祉課長)、 牧野美鈴(大隅支所長)

(監事監査)

開催回	年月日	実施場所	実施者(監事)
第1回	令和2年5月11日	末吉支所・大隅支所	松下成人、井上建夫
	令和2年5月12日	本所	
第2回	令和2年11月5日	末吉支所・大隅支所	
	令和2年11月6日	本所	

(4) 第3次基盤強化計画に基づく取り組み

ア 6委員会(経営分析・スキルアップ・リスクマネジメント・広報・地域課題発掘・相談支援事業所開設)

会議名	開催年月日	出席者数
経営分析委員会	令和2年4月16日	職員7名
	令和2年7月16日	職員8名
	令和2年10月16日	職員6名
	令和3年2月26日	職員7名
スキルアップ委員会	令和2年8月3日	職員7名
	令和2年11月12日	職員7名
	令和3年2月9日	職員6名
リスクマネジメント委員会	令和2年7月17日	職員7名
	令和2年10月26日	職員7名
	令和3年2月5日	職員7名
	令和3年3月3日	職員4名
広報委員会	令和2年8月6日	職員6名
	令和2年8月18日	職員6名
	令和2年11月17日	職員5名
	令和3年2月19日	職員6名
地域課題発掘委員会	令和2年8月6日	職員8名
	令和2年9月1日	職員6名
	令和2年10月19日	職員9名

会議名	開催年月日	出席者数
	令和3年3月19日	職員7名
相談支援事業所開設委員会	令和2年8月4日	職員6名
	令和2年11月13日	職員5名
	令和3年2月16日	職員6名

イ 実践委員会の開催

開催回	開催年月日	出席者数
第1回	令和2年9月11日	職員9名
第2回	令和2年12月11日	職員11名
第3回	令和3年3月19日	職員10名

ウ 職員意識調査の実施…令和2年12月7日～21日の期間に職員(93名)が調査票に記入し実施。現在集計中。

エ 行政との定期的な意見交換会の開催…

「曾於市・曾於市社協事務協議打ち合せ会」を10月26日に開催

出会者：(市)市長・副市長・課長・係長・担当職員 (社協)理事9名及び管理職16の質問事項を本会から市へ提出し課題等の共有を図った。

(5) 社会福祉充実計画の実施

事業名	事業種別	事業概要	取り組み内容
職員育成事業	社会福祉事業	当法人の職員の資質向上を図るため、全国団体が実施する研修の受講費用を補助する。	職員3名が先進社協で研修を実施 12月8日：福岡市社協 12月9日：大牟田市社協 研修内容：遺贈、死後事務、権利擁護事業、生活困窮者自立支援事業
職員処遇改善事業	社会福祉事業	新規採用職員の前歴換算(職歴加算)を行い、給与等の増額支給をすることとし、処遇改善を図る。	4月1日付け採用職員1名の前歴換算を行い、処遇改善を図った。
権利擁護センター運営事業	社会福祉事業	認知症や精神障がい、知的障がい等で判断能力が不十分な方が、安心して地域で生活が送れるよう、権利擁護センターを設置し、福祉サービス利用支援事業及び成年後見事業を行う。	福祉サービス利用支援事業、法人後見事業を実施中。 (※権利擁護センター関係事業実績参照)

事業名	事業種別	事業概要	取り組み内容
小規模多機能型居宅介護事業所建物整備事業	社会福祉事業	小規模多機能型居宅介護事業を実施する建物建設のため、場所等の事前調査・検討を行う。	本事業を今後実施することが可能か検討を行っていく。
福祉バス運行事業	地域公益事業	福祉団体の活動・研修、ボランティア団体のボランティア活動の支援、買い物支援事業で福祉バスを運行する。	4月～10月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を実施しなかった。11月から利用受付を再開したが、利用団体はなかった。
ふくし拠点づくり事業	地域公益事業	小地域ごと(26校区社協ごと)の福祉相談窓口で有償ボランティアが相談対応にあたる。また、必要に応じ、その場所でサロンや介護予防教室を開催する。	モデル地区を選定し座談会の開催やニーズ調査等を実施予定。

- (6) 役職員研修会…11月19日開催 役員10名、管理職5名が出席
(研修内容)・事務、事業についての質疑応答 ・市区町村社協経営指針について
- (7) 管理職(事務局長・課長・支所長)会議…毎月開催
- (8) 主任会議及び担当者会…随時開催
- (9) 職員会議…本・支所別に毎月1回開催

2 財政基盤の強化

(1) 会費等の状況

会費	一般会員		賛助会員		特別会員		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	10,345	2,586,250	122	216,000	6	76,500	10,473	2,878,750
令和元年度	10,656	2,664,000	146	183,000	3	74,000	10,805	2,888,000
前年度との差異	-311	-77,750	-24	33,000	3	2,500	-332	-9,250

(2) 寄付の状況

寄付	一般寄付		香典返し寄付		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	40	2,232,765	165	2,621,000	205	4,853,765
令和元年度	23	311,909	153	2,662,000	176	2,973,909
前年度との差異	17	1,920,856	12	-41,000	29	1,879,856

(3) 経営会議…12月4日開催 職員13名出席

各事業における現状・課題・今後の見通しについて共有し、全体協議を実施

3 職員研修・意識改革の推進

(1) 本・支所別自己啓発研修会

年月日(開催場所)	開催場所	主な内容
令和2年6月16日	末吉支所	曾於市社会福祉協議会の理念について
令和2年6月19日	本 所	
令和2年6月25日	大隅支所	
令和2年10月19日	末吉支所	交通安全について(法令講習)
令和2年10月22日	大隅支所	
令和2年11月13日	本 所	認知症サポーター養成講座
令和2年11月24日	末吉支所	
令和2年11月26日	大隅支所	
令和3年3月12日	本 所	八代市災害ボランティアセンタースタッフ活動報告
令和3年3月16日	末吉支所	
令和3年3月25日	大隅支所	

4・5・7・8・12・1月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催せず。

(2) 役職員全体研修会(本・支所合同研修)

開催回	開催年月日	開催場所	主な内容
第1回	令和2年9月8日	末吉総合センター	講師：大倉一真 氏 パーソナルサービス支援機構代表理事 演題：スクール・セーフティ・コーディネート取り 組み概要とアドボカシー制度について
第2回	令和3年2月22日	そお生いき健康センター	講師：山下弘彦 氏 日野ボランティア・ネットワーク 演題：被災住民・地域への支援で感じている災害時の支 援における社協(社会福祉協議会)の役割

(3) 事業所別ミーティング・研修会…事業所別に毎月開催

(4) 各種団体実施研修会への参加

※別紙「事業実施状況」参照

(5) 新人育成研修会

年月日	研修受講職員数	主な内容
令和2年4月1日	11名	曾於市社協理念等について、各課事業内容、 就業規則について、接遇
令和2年10月6日	9名	曾於市社協理念等について、各課事業内容、 就業規則について、自身のキャリアデザインを検 討する

- (6) 課長・地域包括支援センター長・支所長・主任・一般職・臨時職等の職位別研修会
・職位別研修会（主任対象）

年月日	研修受講職員数	主な内容
令和2年9月25日	8名	職位別に求められる能力について考える

- ・職位別研修会（一般職対象）

年月日	研修受講職員数	主な内容
令和2年9月4日	14名	職位別に求められる能力について考える
令和2年9月18日	14名	

- ・職位別研修会（臨時職員・登録訪問介護員・非常勤介護支援専門員対象）

年月日	研修受講職員数	主な内容
令和2年6月30日	14名	理念、基本方針、ミッション・ビジョン・バリュー、職位別に求められる能力、社協職員行動原則について
令和2年7月2日	16名	
令和2年9月15日	13名	
令和2年9月17日	11名	

- (7) 自己資質向上研修への支援…実績なし

- (8) 資格取得の促進・支援…各種国家試験等の情報提供(社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員)
介護福祉士国家試験合格者 2名

4 表彰・顕彰

- (1) 曾於市社会福祉大会における表彰状等の授与

第16回曾於市社会福祉大会（令和2年11月29日）で授与

区分	被表彰者数
表彰の部	民生委員・児童委員 7名 社会福祉団体等の役職員 9名 在宅福祉アドバイザー 9名
感謝の部	対象者なし

- (2) 県社会福祉協議会会長及び九州社会福祉協議会連合会会長表彰手続き

区分	被表彰者数
県社会福祉協議会会長表彰	曾於市社会福祉協議会職員 1名
九州社会福祉協議会連合会会長表彰	曾於市社会福祉協議会職員 3名

5 曾於市公共の施設の指定管理経営

(1) 財部保健福祉センター

利用人数 (人)	会議室	トレーニング室	相談室	診察室	保健指導室	機能回復訓練室	栄養改善室	合計
令和2年度	1,873	485	138	0	792	1,754	247	5,289
令和元年度	4,497	1,472	333	0	924	2,191	221	9,638
前年度対比	-2,624	-987	-195	0	-132	-437	26	-4,349

利用回数 (回)	会議室	トレーニング室	相談室	診察室	保健指導室	機能回復訓練室	栄養改善室	合計
令和2年度	136	150	60	0	18	89	18	471
令和元年度	163	215	76	0	21	121	21	617
前年度対比	-27	-65	-16	0	-3	-32	-3	-146

(2) 大隅弥五郎伝説の里

利用人数 (人)	電動カー	会議室	調理実習室	多目的広場等	入浴施設	合計
令和2年度	2,229	4,220	201	18,246	27,035	51,931
令和元年度	2,996	9,320	97	37,774	38,196	88,383
前年度対比	-767	-5,100	104	-19,528	-11,161	-36,452

利用回数 (回)	電動カー	会議室	調理実習室	多目的広場等	入浴施設	合計
令和2年度	-	93	15	985	-	1,093
令和元年度	-	136	17	1,372	-	1,525
前年度対比	-	-43	-2	-387	-	-432

(3) 大隅デイサービスセンター…地域福祉課事業係 通所介護大隅事業所実績参照

6 本会経理事務の実施

(1) 社会福祉充実残額の算定

令和元年度末 社会福祉充実残額	568,130,000 円
-----------------	---------------

7 啓発活動及び情報公開

- (1) ガイドブックの改訂・整備…令和2年4月1日改定
- (2) 情報紙「手と手」発行

種別	年月日	発行部数
「手と手」第75号	令和2年5月15日	12,000部
「手と手」第76号	令和2年8月14日	12,000部
「手と手」第77号	令和2年11月13日	12,000部
「手と手」第78号	令和3年2月15日	12,000部

- (3) ホームページ、SNSによる情報発信等

種別	備考
ホームページ	市社協の事業やイベント情報などを市民に提供

8 職場環境の整備

- (1) 衛生委員会の開催

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none">・職場巡視点検並びに業務の効率化の検討等・週1回のノー残業デーの設定及び年休取得促進等・リフレッシュ休暇(3日連続の年休取得)の周知等による年休取得促進等・育児介護休業制度に基づく諸制度の周知・メンタルヘルス等相談窓口の周知
--------	--

- (2) メンタルヘルス等相談窓口の設置…相談実績0件
- (3) ストレスチェックの実施

実施年月日	受検者数
令和2年7月17日～22日	95人

9 組織運営及び事業の提案・改善

- (1) キャリアパス制度の運用…キャリアパス基準に基づいた人事運用の実施
- (2) 勤務評定の実施

開催回	実施年月日	実施対象職員
第1回	令和2年5月15日～6月25日	全職員
第2回	令和2年10月23日～12月3日	

- (3) 職員自己申告調査の実施…12月に全職員を対象に実施
- (4) 持続かつ安定した組織づくりのための職員採用計画の見直し
- (5) 職員意見箱の設置による意見・提案の把握と事業内容の検討…意見箱実績なし

10 研修及び実習受け入れ

(1) 研修受入

6月11日 志布志市社会福祉協議会研修受入

(2) 実習生受入

社会福祉相談援助実習 1名

11 共同募金運動への協力

(1) 募金活動の啓発

(2) 曾於市共同募金委員会との連携

・情報紙「手と手」第77号に記事を掲載

・SOO Good FMに職員が出演し啓発

(3) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力…街頭募金、職域募金等による協力

・10月4日(日)、12月6日(日)に役職員が市内で街頭募金活動を実施

実績額：111,158円

・職域募金(職員)を実施

実績額：106,500円

12 その他本会の目的達成のために必要な事業

(1) 曾於市共同募金委員会事務局

(2) 日本赤十字社鹿児島県支部曾於市地区事務局

(3) 曾於市民生委員児童委員協議会連合会及び各地区民生委員児童委員協議会事務局

II 地域福祉課 地域係関係

地域係では、中学校区ごとの生活圏域に配置した地域福祉コーディネーター（生活支援コーディネーターを兼務）が、住民や専門職等と協働し生活課題の解決に向けた支援を行いました。具体的には、①相談窓口機能、②ニーズ把握機能、③問題解決機能、④地域住民へのエンパワメント機能、⑤地域組織化機能、⑥ネットワーキング機能、⑦地域の支援システム機能の7つの機能を発揮し、住民が暮らし続けていくことを応援しました。

社会福祉法人、企業、関係機関等を巻き込みながら重層的なネットワークの強化を図ることで、曾於市内の地域福祉は一層推進され、小学校区を単位とした校区社協活動の活性化にもつながり、見守り活動や小地域での支え合いの仕組みづくりなどを住民と協働で進めることができました。

介護保険制度などフォーマルなサービスの提供を通して培ってきた個別支援のスキルを地域支援のスキルとマッチングさせることで専門性の高い、社協らしいサービスの提供につながりました。組織再編により、個別のニーズを元に地域の力で解決に結び付けていく、コミュニティソーシャルワークの実践をさらに進めることができました。少子高齢化と同時に人口減少が続いている現状をしっかりと把握し、複雑・多様化する福祉課題や生活課題の解決に向けて住民とともに取り組めたことは、単年度で終わらせず今後も続けていくことが大切です。

また、生きづらさを抱えた人への支援も発展させました。地域での生活のしづらさが多世代にわたっている実態を住民にも伝え、寄り添った支援を行う支援者の輪が広がりました。

誰もが安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に確実に近づいています。住民同士が支え合いながら、あらゆる住民が役割をもち、自分らしく生活していけるようなコミュニティの育成が着実に一步一步進んでいます。既存の枠にとらわれない、柔軟な支援を意識したことで様々な関係者と連携・協力しながら進めることでこれまで支援の対象としていなかった住民へも広がり地域共生社会の実現を現実的なものにすることができました。

地域福祉課 地域係関係事業実績

1 地域係

(1) 地域福祉活動推進事業

ア 地域福祉ネットワークづくり事業

・社会福祉法人連絡会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
社会福祉法人連絡会	令和3年2月9日	15人	生活困窮者に対する支援

・福祉施設・団体・グループ等各種連絡会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
就労施設等との連絡会	令和2年6月5日	6人	レクリエーション大会の開催方法

・大隅地区社会福祉協議会連絡協議会での情報交換…（開催されず）

・都城市など近隣の県外社協との情報交換

会議名	年月日	参加者数	主な内容
都城市社協との事務協議	令和2年11月11日	5人	事業実施状況、今後の事業連携
災害時相互応援に関する協定の打合せ	令和3年3月19日	3人	調印式のスケジュール、記念講演の内容等

イ 校区社会福祉協議会活動事業

・26校区社会福祉協議会地域福祉活動に対する助成

対象社協数	実績
26	1,577,200円

・26校区社会福祉協議会連絡会等の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
第1回連絡会	令和2年4月15日	(資料配付)	
校区・地区公民館長及び校区社協会長合同連絡会	令和2年9月8日	41人	講演、事務連絡
【財部地区】			
財部校区北俣役員会	令和2年4月15日	18人	事業計画打合せ
財部校区南俣役員会	令和2年5月26日	8人	事業計画
財部校区下財部役員会	令和2年7月14日	10人	事業見直し
財部校区下財部役員会	令和2年10月28日	8人	事業計画打合せ
財部校区北俣役員会	令和2年11月4日	13人	事業計画打合せ

会議名	年月日	参加者数	主な内容
財部校区南俣役員会	令和2年11月13日	8人	事業計画見直し
財部校区南俣役員会	令和3年2月10日	8人	事業計画打合せ
財部校区下財部役員会	令和3年2月10日	8人	事業計画打合せ
【末吉地区】			
高岡校区役員会	令和2年6月2日	8人	事業計画打合せ
北部校区定例会	令和2年6月29日	20人	事業説明
高岡校区役員会	令和2年7月21日	6人	事業計画打合せ
光神校区役員会	令和2年7月26日	6人	事業内容変更
高岡校区役員会	令和2年10月6日	8人	事業、マップ作り打合せ
高岡校区役員会	令和2年12月1日	6人	事業打合せ
南部校区役員会	令和2年12月15日	6人	事業打合せ
高岡校区役員会	令和3年2月16日	7人	ネットワーク会議、事業計画打合せ
【大隅地区】			
岩川校区役員会	令和2年4月10日	13人	事業検討、役員改選
月野校区座談会①	令和2年6月22日	9人	災害時の避難
月野校区座談会②	令和2年6月25日	9人	災害時の避難
月野校区座談会③	令和2年6月26日	6人	災害時の避難
月野校区座談会④	令和2年6月29日	9人	災害時の避難
大隅北校区役員会	令和2年7月6日	7人	事業確認、会則検討
岩川校区座談会①	令和2年8月6日	9人	防災、支え合いマップ
岩川校区座談会②	令和2年8月22日	6人	自治会との情報共有
岩川校区座談会③	令和2年8月25日	10人	緊急連絡体制、認知症
岩川校区座談会④	令和2年9月5日	8人	台風時の支援
岩川校区座談会⑤	令和2年9月12日	6人	自治会との連携
岩川校区座談会⑥	令和2年9月13日	7人	活動の振り返り
岩川校区座談会⑦	令和2年9月21日	7人	見守り方法の検討
岩川校区座談会⑧	令和2年10月1日	9人	台風時の対応
岩川校区座談会⑨	令和2年11月7日	8人	独居男性の支援
大隅北校区座談会①	令和2年11月21日	9人	気になる人の情報共有
岩川校区座談会⑩	令和2年11月23日	5人	アドバイザーの役割
大隅北校区座談会②	令和2年11月24日	9人	気になる人の情報共有
岩川校区座談会⑪	令和2年11月25日	5人	気になる人の情報共有
大隅北校区座談会③	令和2年11月27日	8人	気になる人の情報共有
大隅北校区座談会④	令和2年11月30日	6人	気になる人の情報共有

会議名	年月日	参加者数	主な内容
月野校区ふれあい師走の集い	令和2年12月1日	70人	認知症サポーター養成講座、グラウンドゴルフ交流会
恒吉校区ゴミ出しサポート&歳末ゴミ拾い大作戦	令和2年12月13日	120人	高齢者のゴミ出し支援、地域のゴミ拾い
笠木校区福祉の集い（お便り活動）	令和3年2月7日	21人	見守り対象者への手紙

・地域福祉活動関係研修の開催

研修名	年月日	参加者数	主な内容
災害ボランティア登録者養成講座	令和3年2月22日	34人	災害が起こる前にできる地域づくり

ウ 地域の福祉推進（テーマ別課題解決）事業

校区社会福祉協議会主催による活動で地域福祉課題の解決につながる事業を助成

テーマ	実績
課題解決を図る独創的な福祉活動(民生委員単位での座談会、居場所づくりなど)	11 校区社協へ助成
地域福祉活動計画の策定	(申請なし)
福祉のつどい又は社会福祉大会の開催	15 校区社協へ助成

エ 在宅介護支援事業

在宅介護者等の相談に応じる窓口を開設し、お互いの思いを語り合う場づくりと必要に応じた技術的な支援

- ・専門職の派遣等による介護方法の技術的な支援…（要請なし）
- ・認知症の方などを支える介護者等を対象にした「ほっとカフェ」の開催

a 定期開催 財部地区と大隅地区で定期的に相談窓口を開設

開催場所	開催日	参加者数
財部保健福祉センター	第3水曜日	0
大隅弥五郎伝説の里	第3木曜日	9人

b 特別開催 語り合う場づくりを各地区で開催

開催場所	開催日	参加者数
北部地区公民館	令和2年8月31日	33人
北部地区公民館	毎月最終月曜日	125人

オ 弁護士による相談窓口設置事業

弁護士の協力を得て、市民を対象にした無料相談窓口を設置

- ・ひまわりの会による無料福祉相談窓口（原則として第3木曜日）

開催日	相談件数	備考
第3木曜日	8件	電話5件、対面3件

- ・藤尾直人弁護士による無料法律相談会（原則として第2・3火曜日）

開催日	相談件数	備考
第2火曜日	20件	財部保健福祉センター 13:00~15:00
第3火曜日	14件	大隅弥五郎伝説の里 18:00~20:00
	34件	対面25件、ウェブ9件

カ 100歳到達者への祝金贈呈事業

市内に居住する100歳に達した方に祝金の贈呈…26人に祝金贈呈

キ 法外援護事業

火災や自然災害に遭った方へのお見舞いや浮浪者の移動援護

- ・被災者への見舞金の贈呈…2件
- ・浮浪者への交通費の支給…（実績なし）

(2) ボランティア・市民活動センター事業

ア ボランティア数及び活動状況

- ・ボランティア登録数

区 分	団体数	人数
A 登録する団体のうちボランティア活動を主目的とする団体	86	3,078
B 登録する団体のうちボランティア活動を主目的としない団体	9	206
C 登録個人ボランティア	—	80
小 計 (A+B+C)	95	3,364
D ボランティア活動を行う団体として把握している未登録の団体 (ボランティア活動を主目的とする・しないを問わない)	10	92
個人でボランティア活動を行う者として把握する未登録の者	1	1
合 計 (A+B+C+D)	105	3,456

- ・ボランティア相談件数…39件

主な 相談内容	ふれあい・いきいきサロン活動、ボランティア活動、ボランティア活動保険、福祉施設イベント等へのボランティアコーディネート、サロン等への講師派遣、福祉教育への講師要請、ボランティア団体の紹介、住民参加型在宅福祉サービス「ほっとサービス」関係、被災地でのボランティア
------------	--

・ボランティア幹旋件数…38 件

主な 幹旋内容	ふれあい・いきいきサロン活動支援、福祉施設イベント等へのボランティア派遣、家庭教育学級への講師等コーディネート、ボランティア活動希望者への活動紹介・支援
------------	--

イ ボランティア講座の開設

講座名	年月日	参加者数	主な内容
2020 ボランティア養成講座（4回シリーズ）	令和2年10月15日	23人	傾聴と伴走型支援①
	令和2年10月22日	22人	傾聴と伴走型支援②
	令和2年11月5日	23人	地域での活動
	令和2年11月12日	20人	相手との向き合い方

ウ 元気高齢者等介護職場インターンシップ事業への協力

- ・職場体験申込者数 4人
- ・元気高齢者等介護職場インターンシップ事業実施説明会、報告会 4回

エ ボランティア団体・グループ等連絡会の開催…（開催せず）

オ おもちゃ病院の仲介・活動支援…16件

カ 手話奉仕員養成講座（受託事業）

- ・曾於市手話言語条例の制定に基づき、市内に手話奉仕員を育成・配置するため、手話奉仕員養成カリキュラムの実施

講座名	年月日	参加者数	備考
令和2年度 曾於市手話奉仕員養成講座(入門編)・第1回 講習会	令和2年10月28日	29人	講師：時任 正二 崎田 典子
第2回 講習会	令和2年11月4日	30人	講師：時任 正二 崎田 典子
第3回 講習会	令和2年11月11日	29人	講師：時任 正二 崎田 典子
第4回 講習会	令和2年11月18日	29人	講師：時任 正二 崎田 典子
第5回 講習会	令和2年11月25日	29人	講師：時任 正二 崎田 典子
第6回 講習会	令和2年12月12日	29人	講師：時任 正二 崎田 典子
第7～18回 講習会	中止		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止(来年度7回以降を開催予定)
		175人	

- ・受講生への情報提供…令和3年2月10日

(3) 赤い羽根共同募金助成事業

ア ささえあいネットワーク事業

・在宅福祉アドバイザーによる見守り活動の推進

a 在宅福祉アドバイザーの配置

(令和3年3月31日現在)

アドバイザー数	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
	163人	275人	186人	624人

b 在宅福祉アドバイザーが見守る要援護者数

地区	区分	寝たきり	認知症	難病	障がい者	母子寡婦父子	その他	入院	入所	区分なし	計	合計
財部	独居高齢者	0	2	0	22	0	1	0	0	174	199	299人
	高齢者世帯	0	0	0	1	0	0	0	0	31	32	
	独居世帯	0	0	1	3	0	0	0	0	23	27	
	同居世帯	1	0	3	8	0	0	0	0	29	41	
末吉	独居高齢者	0	5	2	29	1	0	1	0	432	470	667人
	高齢者世帯	0	1	0	5	0	0	0	0	83	89	
	独居世帯	0	0	1	6	0	1	0	0	31	39	
	同居世帯	0	2	0	6	2	0	0	0	59	69	
大隅	独居高齢者	0	1	0	37	0	3	3	0	347	391	507人
	高齢者世帯	0	0	1	9	0	0	0	0	43	53	
	独居世帯	0	0	0	4	0	0	0	0	30	34	
	同居世帯	0	0	1	4	0	0	0	0	24	29	
合計	独居高齢者	0	8	2	88	1	4	4	0	953	1,060	1,473人
	高齢者世帯	0	1	1	15	0	0	0	0	157	174	
	独居世帯	0	0	2	13	0	1	0	0	84	100	
	同居世帯	1	2	4	18	2	0	0	0	112	139	

c 26校区ネットワーク会議の支援（校区社協、市との共催）…上半期16校区社協、下半期19校区社協で実施

d 在宅福祉アドバイザー手引きの作成…全面改訂

e 在宅福祉アドバイザー活動に対する助成…1,230,000円（615名分）

f ボランティア活動保険加入への助成…194人

g 企業等による見守り活動…17件

・支えあいマップ作りの支援

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
開催数	0	8 箇所	1 箇所	9 箇所

・民生委員との意見交換会の支援

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
開催数	2 箇所	1 箇所	0	3 箇所

イ 子育て支援事業

- ・子ども食堂への支援…活動助成（90,000 円、3 団体）、チラシ作成、各種コーディネート
- ・認可外保育所も含めた保育施設への支援…物品購入助成（90,000 円、3 団体）
- ・子育てサロン活動への支援…（対象団体なし）

ウ 障がい者支援事業

- ・障がい者施設等との連絡会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
第 1 回就労施設等との連絡会	令和 2 年 6 月 5 日	6 人	レクリエーション大会
第 2 回就労施設等との連絡会	令和 2 年 8 月 7 日	6 人	代替イベント検討

- ・第 5 回障がい者レクリエーション大会…開催中止（代替イベントもなし）
- ・お掃除サポート事業の実施…歳末たすけあい募金助成事業で実施「(4) 歳末たすけあい募金助成事業」を参照

エ ほっとサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

- ・会員数及び提供数

依頼会員数	81 人
協力会員数	47 人
サービス提供数	144 件

- ・サービスの内容

買い物支援	ゴミ出し・分別	受診の付添	簡単な庭整備	墓参り代行	歩行・更衣介助	清掃	除草剤散布ほか	棚補強ほか	家具移動	その他	合計
58	33	2	0	2	0	0	0	0	0	49	144

- ・協力会員のスキルアップ講座、連絡会…35 名参加

オ 福祉教育及びボランティア活動推進事業

- ・市内の全小中高校をボランティア協力校に指定

	小学校	中学校	高等学校	計
ボランティア協力校数	20	3	1	24
助成金を交付した学校	20	2	1	23

- ・ボランティア協力校連絡会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
第1回連絡会	(中止)	(資料配付)	
第2回連絡会	令和3年2月17日	28人	市社協と協働で実施した福祉教育

- ・福祉教育出前講座の開催

参加者数	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
	0	65人	84人	149人

- ・サマーボランティア体験活動の開催

参加者数	岩南小学校	合計
	46人	46人

カ ふれあい・いきいきサロン事業

- ・サロン団体数

設置数	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
	40	54	20	114

助成金交付サロン…88 サロン 自主運営サロン…26 サロン

- ・サロン団体への開設補助

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
助成団体数	27	42	19	88
助成額	227,359	484,518	196,000	907,877

- ・サロン代表者連絡会の開催（全体連絡会、地区別連絡会）

会議名	年月日	参加者数	主な内容
第1回財部地区①	令和2年9月18日	11人	認知症サポーター養成講座、意見交換、事業説明
第1回財部地区②	令和2年9月23日	11人	認知症サポーター養成講座、意見交換、事業説明
第1回末吉地区①	令和2年9月14日	13人	認知症サポーター養成講座、意見交換、事業説明
第1回末吉地区②	令和2年9月15日	14人	認知症サポーター養成講座、

会議名	年月日	参加者数	主な内容
			意見交換、事業説明
第1回末吉地区③	令和2年9月18日	15人	認知症サポーター養成講座、意見交換、事業説明
第1回末吉地区④	令和2年9月24日	13人	認知症サポーター養成講座、意見交換、事業説明
第1回大隅地区①	令和2年10月5日	8人	認知症サポーター養成講座、意見交換、事業説明
第1回大隅地区②	令和2年10月6日	12人	認知症サポーター養成講座、意見交換、事業説明
第2回財部地区	令和3年2月24日	18人	レク・脳トレ紹介、感染症対策講話、意見交換、事業報告
第2回末吉地区①	令和3年2月25日	28人	レク・脳トレ紹介、感染症対策講話、意見交換、事業報告
第2回大隅地区	令和3年2月26日	18人	レク・脳トレ紹介、感染症対策講話、意見交換、事業報告
第2回末吉地区②	令和3年2月27日	14人	レク・脳トレ紹介、感染症対策講話、意見交換、事業報告

・サロン活動への専門職派遣…（要請なし）

・各種研修会への参加

会議名	年月日	参加者数	主な内容
あんしん・安全ネットワークセミナー	令和3年1月26日	17人	コロナ禍の中での福祉活動（森岡千鳥氏、福留地域福祉コーディネーター登壇）

キ ボランティアバス運行事業

・災害支援ボランティアの募集…（県外の手入れが難しく募集に至らず）

・マイクロバスによる移動手段の提供…（実施せず）

・災害ボランティアセンターに関する研修、設置運営訓練

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
災害ボランティア登録者養成講座	令和3年2月22日	34人	災害が起こる前にできる地域づくり

ク 柔軟・即応サービス事業

- ・行政との連携に向けた協議…（協議するも調整に至らず）
- ・支援物資の提供などサービスの提供…（協議するも実施に至らず）
- ・住民向けの講演会や専門職向けの研修会

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
伴走型支援者養成講座（一般向け）	令和3年3月11日	15人	自分の中のジャッジメントに気付く、手放す
伴走型支援者養成講座（専門職向け）	令和3年3月12日	10人	自分の中のジャッジメントに気付く、手放す

ケ 共生型居場所づくり事業

- ・専門職と連携したモデル地区の地域アセスメント…（アセスメントのみ実施）
- ・マップづくりなどを通じての情報共有と人材発掘…（マップづくりのみ実施）
- ・説明会や座談会の開催…（実施できず）

(4) 歳末たすけあい募金助成事業

ア 地域の福祉推進（テーマ別課題解決）事業…「(1) 地域福祉活動推進事業」の「ウ 地域の福祉推進（テーマ別課題解決）事業」を参照

イ お掃除サポート事業

障がい者の方が自宅で快適に生活できるよう年末年始のお掃除をサポート（専門業者に委託）…83件

(5) 生活支援体制整備事業（受託事業）

ア 財部地域生活支援体制整備事業

・各種会議出会状況

生活支援体制整備事業第2層連絡会	8回	財部地域多職種連携の会企画会議	0回
財部地区民協定例会	12回	財部地域多職種連携の会	0回
ケース会議	3回	地域ケア個別会議	3回
サロン、体操教室立ち上げ打合せ	1回	認知症初期集中支援チーム会議	1回

・資源把握活動状況

サロン・体操教室訪問	12回	高齢者学級訪問	0回
ミニデイ	3回		

・その他

自治会、校区社協ネットワーク会議、ささえあいマップ作り等

イ 末吉地域生活支援体制整備事業

・各種会議出会状況

生活支援体制整備事業第2層連絡会	7回	第2層連絡会地区別打合せ	4回
末吉地区民協定例会	10回	地域ケア個別会議	4回
サロン、体操教室立ち上げ打合せ	6回	子ども食堂立ち上げ打合せ	1回

・資源把握活動状況

サロン・体操教室訪問	21回	ほっとカフェ訪問	6回
ミニデイ	2回	校区社協事業訪問	4回

・その他

自治会、校区社協ネットワーク会議、ささえあいマップ作り等

ウ 大隅地域生活支援体制整備事業

・各種会議出会状況

生活支援体制整備事業第2層連絡会	8回	第2層連絡会地区別打合せ	8回
大隅地区民協定例会	12回	大隅地域多職種連携の会	0回
自立支援会議	1回	地域ケア個別会議	1回
サロン打合せ	0回	脳血管疾患患者の会企画会議	0回

・資源把握活動状況

地域資源把握訪問 (移動販売、趣味講座等)	2回	サロン・体操教室訪問	22回
グラウンドゴルフ、ゲートボール 訪問	4回	高齢者学級訪問	0回

・その他

自治会、校区社協ネットワーク会議、ささえあいマップ作り等

(6) 生活困窮者自立支援事業

ア 家計改善（相談）支援事業

・問合せ及び相談支援件数

	財部	末吉	大隅	合計
問合せ	2件	1件	2件	5件
相談支援	52件	17件	90件	159件
合計	54件	18件	92件	164件

・契約者数

(令和3年3月31日現在)

	財部	末吉	大隅	合計
契約者数	3人	1人	3人	7人

・支援調整会議への参加…9回

(7) 福祉資金貸付事業

ア 相談・援助と課題解決への支援

イ 生活福祉資金貸付事業への協力

・生活福祉資金貸付状況

	総合支援資金（生活支援費）		福祉資金 （福祉費） 技能習得費	福祉資金 （福祉費） 住居移転等経費
		うちコロナ特例		
件数（件）	22	(21)	1	1
金額（円）	13,950,000	(13,050,000)	250,000	325,000

	福祉資金（緊急小口資金）		教育支援資金 （就学支度費）	合計
		うちコロナ特例		
件数（件）	54	(53)	1	79
金額（円）	9,400,000	(9,300,000)	465,000	24,390,000

ウ 小口福祉資金貸付事業

・小口福祉資金の貸付

令和2年度	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
件数（件）	8	3	5	16
金額（円）	210,000	80,000	140,000	430,000

(8) 心配ごと相談事業

日常生活上の困り事は、複雑・多様化しつつありますが、住民に最も身近な相談窓口として定期的に開設し、問題解決に向けた情報提供や相談支援を行います。

ア 心配ごと相談所の開設（毎月第2・4木曜日）

・相談員

	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
相談員数	4人	5人	4人	13人

・相談件数

相談内容	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
生計				0
年金				0
職業・生業			1	1
住宅				0
家族		2		2
結婚				0
離婚				0
健康・衛生				0

相談内容	財部地域	末吉地域	大隅地域	合計
医療				0
精神衛生				0
人権・法律				0
財産	1	1		2
事故				0
児童福祉・母子保健				0
教育・青少年				0
心身障害者(児)福祉				0
母子福祉・父子福祉				0
老人福祉				0
苦情				0
その他	1	1		2
相談件数計	2	4	1	7

イ 相談員研修会、連絡会の実施…開催せず

ウ 各種相談員研修会への参加

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
各種相談員研修会	令和2年12月11日	3人	地域福祉の現状と課題、身近な法律問題

III 地域福祉課 事業係関係

事業係は、この1年新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に努めながらの事業運営を進めてまいりました。利用者や職員に感染の発生はなく事業継続をすることができました。なお、全事業所において感染症発生時の業務継続マニュアルを作成し、定期的な訓練を継続することで感染時の業務継続に備えました。

居宅介護支援事業については、財部事業所・大隅事業所、共に昨年より担当者数が増えています。事業収益では昨年より介護の件数が増えた為、前年より収益増となりました。

訪問系サービスについては、訪問介護員の高齢化、従事者の人材不足が続いている状況で、新規の訪問依頼に対応しきれないケースもでてきています。そのような中で、財部事業所の訪問回数は増加、大隅事業所は減少しました。

介護予防・日常生活支援総合事業である基準緩和型訪問サービスにおいては、訪問回数が減少しました。

障がいの居宅介護サービスでは、利用者1人当たりの訪問回数が増えたことで、年間延べ訪問回数は増加しました。

訪問入浴介護事業及び障がい者等に対する訪問入浴サービス事業については、曾於市唯一の訪問入浴介護事業所として地域の訪問入浴のニーズに対応していますが、年間の延べ訪問回数は、前年度と比較して減少となりました。

しかし、この事業は民間業者も参入しづらく、社協だからこそ必要な方にできるかぎり対応していくことが重要であり、事業継続にあたっては利用者の確保、従事者の確保に努力します。

通所介護事業所は、約40名の利用登録で、年間の延利用回数が4,447回でした。また、昨年7月から基準型通所サービスを再開しています。基準緩和型通所サービス事業については、利用回数は減少しました。

小規模多機能ホームより愛さかもとは、年間平均登録者数20.6人と充足率も高いです。

利用実績では、「通い」や「宿泊」の利用回数は少し減少しましたが、訪問サービスの回数は増加し、毎月497回を超える訪問サービスを実施しました。月200回以上の訪問サービスを実施し、訪問体制強化加算の算定等により、事業収益の増収につながりました。

一般介護予防事業の転倒予防教室は、9人の指導補助員の協力により末吉地区で3ヶ所、大隅地区で1ヶ所、合計4ヶ所で開所され69人が参加しました。事業実施期間は3か月間ですが、この事業終了後も自主活動として教室を継続され、介護予防のみならず地域の活動拠点となっています。

訪問給食サービス事業は曾於市の受託事業と社協自主事業を実施し、一人暮らしや調理困難な高齢者に食事提供で安否確認と自立した在宅生活の維持ができるよう支援しました。

事業実績としては、前年度より実績が減少し、要因は、曾於市の申請者に対する利用決定の要件が変わり新規利用者が減ったためです。

介護職員処遇改善については、令和2年度も介護職員処遇改善加算（Ⅰ）を取得する体制を維持しました。改善内容としては、訪問介護、訪問入浴介護事業所の介護従事者22人に年間約417万円（一人当たり月平均16,000円）、通所介護の介護従事者10人に年間約193万円（一人当たり月平均16,000円）を、昇給、資格手当、一時金にて支給しました。また、より愛さかもとの介護従事者14人に、年間約536万円（一人当たり月平均32,000円）を、昇給、資格手当、一時金、そして夜勤手当等にて支給し、すべての介護従事者に対して処遇改善を行いました。今後も継続して加算の取得を維持し、介護職員の処遇改善に取り組んでまいります。

地域福祉課 事業係事業実績

2 事業係

(1) 福祉サービス事業

ア 居宅介護支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

・居宅介護支援事所等利用実績

（令和3年3月31日現在）

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	介護支援専門員数	予防			介護		
			月平均利用者数	年間延利用者数	利用者平均担当件数	月平均利用者数	年間延利用者数	利用者平均担当件数
財部事業所	令和2年度	4人	9人	107人	2.2件	113.1人	1,357人	28.3件
	令和元年度	4人	14.7人	177人	3.7件	105人	1,258人	26.2件
	前年度対比	0人	-5.7人	-70人	-1.5件	8.1人	99人	2.1件
大隅事業所	令和2年度	4.7人	9人	108人	1.9件	148.8人	1,893人	33.6件
	令和元年度	4.7人	13.3人	160人	2.8件	143.3人	1,720人	30.5件
	前年度対比	0人	-4.3人	-52人	-0.9件	5.5人	173人	3.1件
合計	令和2年度	8.7人	18人	215人		261.9人	3,250人	
	令和元年度	8.7人	28人	337人		248.1人	2,978人	
	前年度対比	0人	-10人	-122人		13.6人	272人	

・事業活動計算書

a 公益事業-地域福祉課（公益）-居宅介護支援財部事業

（単位：円）

実施年度 (3月末現在)	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額	サービス活動外増減差額	特別増減差額	法人税、住民税及び事業税	当期活動増減差額
令和2年度	23,777,755	22,449,579	1,328,176	12,000	-10		1,340,166
令和元年度	20,966,258	22,676,004	-1,709,746	15,600	-12,250	0	-1,706,396
前年度対比	2,811,497	-226,425	3,037,922	-3,600	12,240	0	3,046,562

b 公益事業-地域福祉課（公益）-居宅介護支援大隅事業

（単位：円）

実施年度 (3月末現在)	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額	サービス活動外増減差額	特別増減差額	法人税、住民税及び事業税	当期活動増減差額
令和2年度	28,576,305	25,528,928	3,047,377	15,000	141,166	0	3,203,543
令和元年度	27,798,815	25,318,607	2,480,208	15,750	245,109	0	2,741,067
前年度対比	777,490	210,321	567,169	-750	-103,943	0	462,476

・その他

- a 定例会の開催…毎週開催
- b 介護支援専門員合同勉強会（学びの会）の開催…毎月開催
- c 他事業所介護支援専門員との合同勉強会…年4回開催
- d 特定事業所としての体制維持
- e 法定研修等における実習受入事業所としての人材育成協力体制の確保
- f 運営基準に基づく業務遂行の徹底
- g 介護支援専門員協議会、その他関連団体等が開催する研修会への積極的参加
- h 多職種連携会議等への参加

イ 訪問介護事業（第1号訪問事業含む）

・訪問介護利用実績

（令和3年3月31日現在）

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働 日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 訪問回数	年間延べ 訪問回数
財部事業所	令和2年度	365日	22.8人	273人	426.2回	5,114回
	令和元年度	366日	24.6人	295人	381.4回	4,577回
	前年度対比	-1日	-1.8人	-22人	44.8回	537回
大隅事業所	令和2年度	365日	19.8人	237人	180.4回	2,165回
	令和元年度	366日	18.3人	219人	263.0回	3,156回
	前年度対比	-1日	1.5人	18人	-82.6回	-991回
合計	令和2年度		42.6人	510人	606.6回	7,279回
	令和元年度		42.9人	532人	644.4回	7,733回
	前年度対比		-0.3人	-22人	-37.8回	-454回

・基準型訪問サービス・基準緩和型訪問サービス利用実績

（令和3年3月31日現在）

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働 日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 訪問回数	年間延べ 訪問回数
財部事業所	令和2年度	365日	23.1人	277人	140.1回	1,681回
	令和元年度	366日	26.6人	319人	154回	1,848回
	前年度対比	-1日	-3.5人	-42人	-13.9回	-167回
大隅事業所	令和2年度	365日	11.1人	133人	70.8回	850回
	令和元年度	366日	11.5人	138人	75.7回	908回
	前年度対比	-1日	-0.4人	-5人	-4.9回	-58回
合計	令和2年度		34.2人	410人	210.9回	2,531回
	令和元年度		38.1人	457人	229.7回	2,756回
	前年度対比		-3.9人	-47人	-18.8回	-225回

・事業活動計算書

a 社会福祉事業-地域福祉課-訪問介護等財部事業-訪問介護財部事業 (単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	23,129,696	22,762,153	367,543	1,000,790	1,494	0	1,369,827
令和元年度	22,436,638	23,326,075	-889,437	40,950	-5,966,631	0	-6,815,118
前年度対比	693,058	-563,922	1,256,980	959,840	5,968,125	0	8,184,945

b 社会福祉事業-地域福祉課-訪問介護等大隅事業-訪問介護大隅事業 (単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	10,137,118	12,759,982	-2,622,864	18,000	-597,588	0	-3,202,452
令和元年度	14,255,673	15,078,980	-823,307	18,900	-6,988,811	0	-7,793,218
前年度対比	-4,118,555	-2,318,998	-1,799,557	-900	6,391,223	0	4,590,766

・その他

- a 定例会の開催（毎月）
- b ヘルパー協議会、その他関連団体等が開催する研修会への参加
- c 介護福祉士資格取得の促進
- d 24時間サービス提供体制の強化
- e 統一した支援実施のためのヘルパー間の連携強化
- f 特定事業所加算の取得に向けた人材育成

ウ 訪問入浴介護事業（介護予防訪問入浴介護含む）

○訪問入浴介護利用実績（市内1事業所のみで実施） (令和3年3月31日現在)

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 訪問回数	年間延べ 訪問回数
訪問入浴 介護事業所	令和2年度	193日	4.8人	57人	33.9回	407回
	令和元年度	241日	6.5人	78人	46.2回	554回
	前年度対比	-48日	-1.7人	-21人	-12.3回	-147回

・事業活動計算書

a 公益事業-地域福祉課（公益）-訪問入浴介護等事業-訪問入浴介護事業（単位：円）

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	5,791,450	5,443,992	347,458	6,000	-5	0	353,453
令和元年度	7,013,726	6,963,222	50,504	9,450	-23,201	0	36,753
前年度対比	-1,222,276	-1,519,230	296,954	-3,450	23,196	0	316,700

・その他

- a 定例会の開催（毎月）
- b 感染防止のための洗浄消毒の徹底と定期的な感染症防止研修の開催
- c 医療の高度化に伴う各医療機関及び訪問看護事業所との連携強化
- d 入浴機器類の定期点検の実施と入浴機器の安全確保
- e 曾於市唯一の訪問入浴介護事業所としての啓発活動

エ 通所介護事業

・通所介護サービス利用実績（令和3年3月31日現在）

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 利用回数	年間延べ 利用回数
大隅事業所	令和2年度	309日	40.3人	484人	370.6回	4,447回
	令和元年度	310日	36人	432人	405.9回	4,871回
	前年度対比	-1日	4.3人	52人	-35.3回	-424回

・基準型通所サービス利用実績（令和3年3月31日現在）

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 利用回数	年間延べ 利用回数
大隅事業所	令和2年度	192日	5人	60人	17.3回	208回
	令和元年度	0日	0人	0人	0回	0回
	前年度対比	192日	5人	60人	17.3回	208回

・基準緩和型通所サービス利用実績（令和3年3月31日現在）

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 利用回数	年間延べ 利用回数
大隅事業所 合計	令和2年度	50日	13.8人	165人	56.5回	678回
	令和元年度	52日	12.5人	150人	64.8回	777回
	前年度対比	-2日	1.3人	15人	-8.3回	-99回

・事業活動計算書

a 社会福祉事業-地域福祉課-通所介護等大隅事業

(単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	40,252,077	33,954,390	6,297,687	21,410	-1,042,056	0	5,277,041
令和元年度	41,703,245	40,600,681	1,102,564	34,650	-7,518,759	0	-6,381,545
前年度対比	-1,451,168	-6,646,291	5,195,123	-13,240	6,476,703	0	11,658,586

・その他

- a 定例会の開催（毎月）
- b 介護技術向上のための勉強会の開催
- c 送迎車両の整備（洗車含む）と乗車前後点検の実施
- d 安全運転と交通法規の順守徹底
- e 感染防止のための洗浄消毒の徹底と定期的な感染防止研修の開催
- f 曾於市介護予防・日常生活支援総合事業に応じた事業の展開
- g 介護福祉士資格取得の促進

オ 小規模多機能型居宅介護事業（介護予防小規模多機能型居宅介護含む）

・小規模多機能型居宅介護サービス利用実績

(令和3年3月31日現在)

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	月平均 登録者数	年間 利用者数	年間 通い回数	年間 宿泊者数	年間 訪問回数
より愛さかもと	令和2年度	20.6人	247人	3,282回	558回	5,967回
	令和元年度	20.2人	242人	3,338回	570回	5,673回
	前年度対比	0.4人	5人	-56回	-12回	294回

・事業活動計算書

a 社会福祉事業-地域福祉課-小規模多機能型居宅介護事業

(単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	58,344,470	49,680,507	8,663,963	1,516,480	254,349	0	10,434,792
令和元年度	56,641,205	52,062,555	4,578,650	858,590	-8,843,039	0	-3,405,799
前年度対比	1,703,265	-2,382,048	4,085,313	657,890	9,097,388	0	13,840,591

・その他

- a 定例会の開催（毎月）
- b 隔月1回の運営推進会議の開催
- c 地域との連携強化と地域福祉活動の促進
- d 訪問サービス支援体制の強化
- e 地域包括ケアシステム推進を担う事業所としての機能強化（宿泊機能強化等）

f 認知症高齢者に対する地域の理解促進のための啓発活動

g 施設内の感染拡大防止の強化

カ 居宅介護事業（重度訪問介護事業含む）

・居宅介護サービス利用実績

（令和3年3月31日現在）

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働 日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 訪問回数	年間延べ 訪問回数
財部事業所	令和2年度	359日	2.7人	32人	121.8回	1,461回
	令和元年度	363日	2.9人	35人	102.9回	1,235回
	前年度対比	-4日	-0.2人	-3人	18.9回	226回
大隅事業所	令和2年度	243日	2.4人	29人	65.8回	790回
	令和元年度	291日	3.2人	38人	63.9回	767回
	前年度対比	-48日	-0.8人	-9人	1.9回	23回
合計	令和2年度		5.1人	61人	187.6回	2,251回
	令和元年度		6.1人	44人	166.8回	2,002回
	前年度対比		-1.0人	17人	20.8回	249回

a 社会福祉事業-地域福祉課-訪問介護等財部事業-居宅介護財部事業（単位：円）

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	5,931,740	3,253,077	2,678,663	0	0	0	2,678,663
令和元年度	4,826,810	3,389,105	1,437,705	0	-6,000,000	0	-4,562,295
前年度対比	1,104,930	-136,028	1,240,958	0	6,000,000	0	7,240,958

b 社会福祉事業-地域福祉課-訪問介護等大隅事業-居宅介護大隅事業（単位：円）

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	1,877,400	1,892,271	-14,871	0	0	0	-14,871
令和元年度	2,087,230	2,303,105	-215,875	0	0	0	-215,875
前年度対比	-209,830	-410,834	201,004	0	0	0	201,004

・その他

a 定例会の開催（毎月）

b 障がいに応じた介護技術の勉強会の開催（随時）

c 精神障がい及び知的障がい者の理解のための研修会への参加

d 相談支援事業所との連携強化

e ヘルパー協議会、その他関連団体等が開催する研修会への参加

f 介護福祉士資格取得の促進

g 24 時間サービス提供体制の強化

h 統一した支援実施のためのヘルパー間の連携強化

キ 地域生活支援事業 訪問入浴サービス事業(障害者総合支援法等に基づく訪問入浴サービス事業・生活サポート事業)

・訪問入浴サービス利用実績(市内1事業所のみで実施) (令和3年3月31日現在)

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働日数	月平均 利用者数	年間 利用者数	月平均 訪問回数	年間延べ 訪問回数
財部事業所	令和2年度	191日	2人	24人	16.6回	199回
	令和元年度	183日	1人	12人	13.1回	157回
	前年度対比	8日	1人	12人	3.5回	42回

・事業活動計算書

a 公益事業-地域福祉課(公益)-訪問入浴介護等事業-訪問入浴サービス事業(単位:円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	2,487,500	2,219,764	267,736	0	0	0	267,736
令和元年度	2,400,000	2,055,512	344,488	0	0	0	344,488
前年度対比	87,500	164,252	-76,752	0	0	0	-76,752

・生活サポート事業利用実績…上半期実績なし

ク 一般介護予防事業(市委託事業)

・一般介護予防事業 転倒予防教室実績 (令和3年3月31日現在)

財部地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
(上半期実績なし)						

末吉地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
たけのこ 体操教室	柳迫校区、中崎自治会、 中崎研修センター	12日	18人	141回	2人	12回
すばるの会	岩南校区、南大沢津自 治会、南大沢津自治会 公民館	12日	12人	117回	1人	12回
健康教室 かな	柳迫校区、中崎自治会、 中崎研修センター	12日	27人	195回	3人	14回

大隅地区	開催校区、開催地域、 開催場所	開催 日数	参加者		指導補助員	
			実人数	延利用回数	実人数	活動延回数
チューリップ クラブ	岩川校区、あけぼの自 治会、あけぼの公民館	12日	12人	64回	3人	14回

・事業活動計算書

a 社会福祉事業-地域福祉課-通所介護等大隅事業-一般介護予防財部事業 (単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	0	40,256	-40,256	0	0	0	-40,256
令和元年度	192,112	214,724	-22,612	0	-5,000,000	0	-5,022,612
前年度対比	-192,112	-174,468	-17,644	0	5,000,000	0	4,982,356

b 社会福祉事業-地域福祉課-通所介護等大隅事業-一般介護予防未吉事業 (単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	377,597	291,527	86,070	0	0	0	86,070
令和元年度	80,761	87,652	-6,891	0	-9,994,960	0	-10,001,851
前年度対比	296,836	203,875	92,961	0	9,994,960	0	10,087,921

c 社会福祉事業-地域福祉課-通所介護等大隅事業-一般介護予防大隅事業 (単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	94,400	140,229	-45,829	0	0	0	-45,829
令和元年度	0	42,240	-42,240	0	-10,000,000	0	-10,042,240
前年度対比	94,400	97,989	-3,589	0	10,000,000	0	9,996,411

ケ 訪問給食サービス事業

・大隅地区高齢者訪問給食サービス事業(受託事業)利用実績(令和3年3月31日現在)

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働日数	月平均 利用者数	月平均 配食数	年間延べ 配食数
大隅事業所	令和2年度	242日	172.7人	3884.6食	46,615食
	令和元年度	246日	185.4人	4213.4食	50,561食
	前年度比	-4日	-12.7人	-328.8食	-3,946食

・給食サービス事業自主事業利用実績

(令和3年3月31日現在)

実施事業所	実施年度 (3月末現在)	稼働日数	月平均 利用者数	月平均 配食数	年間延べ 配食数
大隅事業所	令和2年度	242日	11.7人	190.8食	2,290食
	令和元年度	246日	10.8人	198.8食	2,385食
	前年度比	-4日	0.9人	-8食	-95食

・事業活動計算書

a 社会福祉事業-地域福祉課-訪問給食サービス事業

(単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	40,703,560	33,141,981	7,561,579	-94,200	1,231,459	0	8,698,838
令和元年度	38,421,620	33,649,262	4,772,358	12,600	-3,667,765	0	1,117,193
前年度対比	2,281,940	-507,281	2,789,221	-106,800	4,899,224	0	7,581,645

IV 権利擁護センター関係

権利擁護センターでは、成年後見事業として7名の法人後見業務を行い、福祉サービス利用支援事業については利用者数が増加しました。今後も、認知症高齢者や障がい者等、地域において権利を主張することが難しい住民の権利を擁護するための取り組みを積極的に行います。

権利擁護センター関係事業実績

判断能力が低下した後も自分の住みたいと思うところで継続して生活できるように次の支援を行います。

1 福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）

(1) 専門員数、支援員数、実利用者数

- ・専門員数…3人
- ・支援員数…23人
- ・実利用者数

(令和3年3月31日現在)

実施年度 (3月末現在)	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
令和2年度	50人	4人	2人	0人	56人
令和元年度	39人	5人	0人	0人	44人
前年度対比	11人	-1人	2人	0人	12人

(2) 相談の受付

- ・相談件数…1,261件(前年度実績：985件)

(3) 支援員連絡会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
福祉サービス利用支援事業利用支援員研修会	令和2年10月20日	21人	・講演「成年後見と桃太郎物語」 ・事務処理の確認について

(4) 専門員会議、利用支援員研修会への参加

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
第1回福祉サービス利用支援事業専門員会議	令和2年8月7日	2人	・精神障がい者への支援・関わり方について
福祉サービス利用支援事業利用支援員研修会	令和2年12月8日	9人	・福祉サービス利用支援事業について ・高齢者への理解と対応について
第2回福祉サービス利用支援事業専門員会議及び専門員セミナー	令和3年3月11日	2人	・事業実施状況・事務処理について ・認知症の人とのコミュニケーションのとり方について

ナー			
----	--	--	--

(5) 福祉サービス利用支援事業に係る実地業務調査

年月日	参加者数
令和2年9月23日	本年度は調査票の提出のみ

(6) 事業活動計算書

・社会福祉事業-権利擁護センター-福祉サービス利用支援事業

(単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	2,980,400	5,110,846	-2,130,446	6,000	1,210,502	0	-913,944
令和元年度	2,195,800	2,677,665	-481,865				-481,865
前年度対比	784,600	2,433,181	-1,648,581	6,000	1,210,502	0	-432,079

2 法人後見に関する事業

(1) 後見業務従事職員数、成年後見支援員数、実利用者数

・後見業務従事職員数…3人

・成年後見支援員数…0人(配置なし)

・実利用者数

(令和3年3月31日現在)

	後見	保佐	補助	合計
令和2年度	6人	1人	0人	7人
令和元年度	1人	0人	0人	1人
前年度対比	5人	1人	0人	6人

(2) 発見、相談の受付(重層的なアウトリーチ機能の確保)

・相談件数…149件(前年度実績：33件)

(3) 運営委員会の開催

会議名	年月日	参加者数	主な内容
(開催なし)			

(4) 関係機関が主催する連絡会への参加

会議名	年月日	参加者数	主な内容
(開催されず)			

(5) 各種研修会への参加

研修会名	年月日	参加者数	主な内容
(開催されず)			

(6) 権利擁護センター研修会の開催

通算	年月日	参加者数	主な内容

第4回	令和2年8月11日	32人	司法書士と成年後見（新丸和博氏）
第5回	令和2年10月20日	33人	意思決定支援の再考（天羽浩一氏）
第6回	令和2年12月8日	25人	任意後見契約と遺言（永井行雄氏）
第7回	令和3年2月9日	18人	成年後見制度の利用促進と中核機関（柳田笑美華氏）

(7) 事業活動計算書

・社会福祉事業-権利擁護センター-法人後見事業

(単位：円)

実施年度 (3月末現在)	サービス 活動収益	サービス 活動費用	サービス 活動 増減差額	サービス 活動外 増減差額	特別 増減差額	法人税、 住民税及 び事業税	当期活動 増減差額
令和2年度	1,159,542	1,092,629	66,913	0	520,406	0	587,319
令和元年度	26,000	1,052,648	-1,026,648	0	957,069	0	-69,579
前年度対比	1,133,542	39,981	1,093,561	0	-436,663	0	656,898

IV 地域包括支援センター関係

地域包括支援センターは、市の委託を受け、地域包括ケアシステム構築に向けた中核的な役割を担う機関として、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員といった専門職がそれぞれの専門性を活かしながら相互に連携し、地域住民の保健・福祉・医療の向上、介護予防促進を総合的に進めることを目的に事業を行なっています。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で様々な研修会や会議を自粛せざるを得ない状況でしたが、感染対策を行ないながらコロナ禍においてできることを工夫しながら事業に取り組んだ1年間でした。

主な業務内容として、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントといった4つの柱となる業務を中心に実施して参りました。

総合相談支援業務では、介護に関する相談をはじめ、認知症や医療、障がいに関することなど幅広い相談を受け付け、初期段階の相談対応、支援、各関係機関へのつなぎの機能を果たすことができました。また、地域住民に地域包括支援センターの役割を知っていただくための普及啓発活動にも取り組んで参りました。

権利擁護業務においては、高齢者虐待、DV、金銭管理等に関する相談に対し、市の介護福祉課、福祉事務所、権利擁護センター、地域の民生委員等との連携を図り迅速な対応を行い、高齢者の生活環境を確保するとともに養護者への支援の検討を行なうなど権利を擁護できるよう努めました。

包括的・継続的ケアマネジメント業務では、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、その状況に応じて地域の多様な資源を活用した包括的で切れ目のない継続的な支援体制を構築できるように、地域の介護支援専門員や医療・保健・福祉の専門職とのネットワークづくりを行い、地域ケア個別会議、ケース会議等を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり研修会の開催は自粛いたしましたが、オンラインでの研修会が開催できるようにIT環境の整備を行ないました。

介護予防、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務では、地域の高齢者の介護予防を推進するため地域に出向き、普及啓発活動を行なって参りました。また、事業対象者及び要支援者が介護予防サービスを適切に利用し介護予防につながるよう、介護予防サービス・支援計画書を作成しサービス事業所等との連絡調整を行なうとともに、業務の一部を適切に居宅介護支援事業所へ委託することができました。

その他、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業等市が主体となって行なう事業に関しては、市とパートナーシップを組み、お互いに協力しながら事業促進に努めました。

地域福祉相談センター事業においては、市の委託を受け、財部地域福祉相談センター及び大隅地域福祉相談センターにおいて高齢者実態把握事業を行なっています。地域の最も

身近な総合相談窓口としての役割を担い、高齢者の生活実態を把握しながら、地域住民や民生委員等関係機関とのネットワークを活用し、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう事業に取り組んで参りました。

曾於市地域包括支援センター関係事業実績

1 介護予防、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務

(1) 介護予防推進のための普及・啓発活動

ア 実施件数

対象者	件数	延人数
ふれあい・いきいきサロン	8件	78人
体操教室・サロン連絡会	5件	101人
高齢者学級	3件	19人
一般介護予防転倒予防教室	1件	8人
ほっとカフェ	1件	16人
長寿クラブ	1件	10人
合計	19件	232人

イ 実施内容

- ・新型コロナウイルス感染症を含めた感染症対策
- ・認知症について(脳トレ等を含む)
- ・体操(転倒予防、椅子運動等)
- ・健康講話(血圧測定、脱水・熱中症予防・ヒートショックなど)

(2) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

- ・介護予防給付及び介護予防ケアマネジメント

実施年度 (3月末現在)	予防給付 (包括)	予防給付 (委託)	介護予防ケア マネジメント (包括)	介護予防ケア マネジメント (委託)	計
令和2年度	2,994件	666件	2,389件	348件	6,397件
令和元年度	2,804件	941件	2,380件	593件	6,718件
前年度対比	190件	-275件	9件	-245件	-321件

2 総合相談支援業務

(1) 相談件数

実施年度 (3月末現在)	介護保険	障がい	権利擁護	訪問給食	地域の課題	見守り	介護予防	緊急通報システム	認知症	医療	合計
令和2年度	153	5	20	2	14	22	1	0	40	14	271
令和元年度	192	11	22	1	3	11	1	1	17	8	267
前年度対比	-39	-6	-2	1	11	11	0	-1	23	6	4

(2) 地区別相談件数

	財部	末吉	大隅	その他
件数	82 件	118 件	70 件	1 件
前年比	33 件	-3 件	-23 件	-2 件

(3) 地域におけるネットワークの構築

ア 多職種連携の会等の実施

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度開催なし。

イ 介護サービス事業所連絡会等の実施

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度開催なし。

ウ 疾病・障がい等当事者のネットワークづくり

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度開催なし。

エ 普及・啓発活動

・広報紙の発行

地域包括支援センターの役割や活動内容を普及・啓発するため「いきいきだより」を発行。

3 権利擁護業務

(1) 相談経路

警察	介護支援専門員	(各担当課) 市役所	家族	医療機関	民生委員	サービス事業所	地域福祉 相談センター	社会福祉協議会	合計
5	2	3	2	1	2	1	3	1	20

(2) 主な相談内容について

DVに関する相談	金銭搾取に関する相談
家族間トラブルについて	児童虐待に関する相談(高齢者を含む世帯)
身寄りのない高齢者の相談	地域住民間トラブルについて
身体的虐待についての相談	引きこもりについて

(3) 高齢者虐待通報

通報件数	虐待内容				
	身体	心理	性的	経済	ネグレクト
18 件	13 件	1 件	0 件	3 件	1 件

※前年比 10 件増

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 地域における介護支援専門員の資質向上、ネットワークの構築・活用

ア 地域ケア個別会議の開催(月 1 回)

開催回数	6回10ケース(新型コロナウイルス感染対策により9月よりZoomで開催)
抽出された地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内に健康体操教室やサロンがないため開設の検討が必要 ・新型コロナウイルスの影響による集まる場の減少 ・免許返納後にふれあいバスの活用が上手くできていない ・自宅を離れ子ども宅での生活で近くに知人・友人がいない ・近くに店がなく車がないと買い物ができない ・老老介護で近くに介護協力者がいない

イ 介護支援専門員及び介護サービス従事者等を対象とした研修会の実施(月1回)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度開催できず、オンラインによる会議・研修会開催に関するアンケートを実施。コロナ禍においても研修が開催できる環境整備・準備を行ないました。

ウ 企画会議(年2回)の開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度開催なし。

エ 事例検討会の開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度開催なし。

(3) 支援困難事例等への指導・助言

ア ケース会議の開催

	末吉地域	大隅地域	財部地域
開催回数	12回	11回	10回
ケース内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的虐待ケースの養護者に対する今後の支援検討 ・生活困窮が疑われるケースの情報共有と支援検討 ・親子間の暴力、通報が度々あるケースの支援検討 ・医療サービスの拒否・セルフネグレクトが疑われるケースの支援検討 ・近隣トラブルのある方への支援検討 ・自宅の片付けができずゴミが山積している方への支援検討など 		

5 高齢者福祉サービスに関する実態調査業務

必要に応じて高齢者の日常生活や介護状況等に関するアセスメントや実態調査に協力。

6 介護予防・日常生活支援総合事業に関する協力

(1) 自立支援会議

総合事業による短期集中型通所及び訪問サービスを利用されている利用者のサービスによる効果を評価し、自立支援に向けた今後の支援の方向性を担当介護支援専門員、リハ職、市担当者、生活支援コーディネーターとともに検討する会議。

	末吉地域	大隅地域	財部地域
開催回数	0回	1回	1回

(2) 総合事業サービス事業所連絡会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度開催なし。

7 在宅医療・介護連携推進事業に関する協力

- (1) 曾於地区在宅医療介護連携推進連絡協議会(年 2 回)
- (2) 曾於地区在宅医療介護連携推進作業部会(年 4 回)
- (3) 大隅圏域入退院支援ルール実践交流会(年 2 回)

8 生活支援体制整備事業に関する協力

総合事業に必要な生活支援サービスの資源開発・創出を進めるための情報提供や助言のほか、第 1 層協議体及び第 2 層協議体の構成メンバーとしての連携強化など、必要な支援を行う。

第 2 層協議体全体連絡会	第 2 層地区別連絡会
7 回	5 回(3 地区合計)

9 認知症施策推進事業に関する協力

- (1) 認知症初期集中支援及びチーム員会議

支援件数	チーム員会議
3 件	なし

・認知症初期集中支援員ネットワーク構築研修への参加

- (2) 認知症地域支援推進員の配置

10 地域福祉相談センター事業

(1) 高齢者実態把握事業（財部・大隅地区）

ア 財部地域高齢者実態把握事業

- ・特定高齢者候補者把握及び高齢者実態把握 454 件
- ・基本チェックリスト実施 26 件
- ・相談内容

実施年度 (3月末現在)	介護予防	介護保険	医療	福祉サービス	介護方法・介護機器等	消費者被害	高齢者虐待	申請・手続き代行	訪問給食	緊急通報	権利擁護	連絡調整	その他	合計
令和2年度	127	321	703	64	9	2	0	23	15	33	2	41	294	1,634
令和元年度	986	645	1,547	103	63	7	1	32	46	97	14	83	934	4,558
前年度対比	-859	-324	-844	-39	-54	-5	-1	-9	-31	-64	-12	-42	-640	-2,924

イ 大隅地域高齢者実態把握事業

- ・特定高齢者候補者把握及び高齢者実態把握 525 件
- ・基本チェックリスト実施 163 件
- ・相談内容

実施年度 (3月末現在)	介護予防	介護保険	医療	福祉サービス	介護方法・介護機器等	消費者被害	高齢者虐待	申請・手続き代行	訪問給食	緊急通報	権利擁護	連絡調整	その他	合計
令和2年度	483	175	714	280	10	0	2	41	107	21	11	283	665	2,792
令和元年度	831	155	477	217	10	0	2	23	40	38	8	93	1,134	3,028
前年度対比	-348	20	237	63	-	-	-	18	67	-17	3	190	-469	-236

【参考】組織体制について（令和3年3月31日現在）

1 役員等

理事	監事	評議員
9名	2名	14名

2 職員 100名 | 正規職員：40名、臨時職員等60名

事務局長	課長	地域包括 支援セン ター長兼 支所長	支所長兼 地域福祉 課事業係 総括主任	主任※	一般職	臨時職員・ 登録訪問 介護員・非 常勤介護 支援専門 員
1名	2名	1名	1名	9名	26名	60名

※内1名、そお地区障がい者等基幹相談支援センター出向